

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	6-	3
事業名	公害対策経費	
会計	一般	
款	4	
項	1	
目		5
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名
		みらい環境課

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 公害等環境問題への対応として、水質汚濁をはじめ、騒音、悪臭、振動などの公害に対する監視・指導を推進し、未然防止及び適切な対応を図るため、環境基本法令等により、町内における水質検査等の環境測定を定期的実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
1	環境測定値の基準値内率	89			%	↑		92
2								
3								
4								
5								
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)			令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				5,312		8,269	7,815	
財源 内訳	直接事業費 A			4,388		4,507	5,175	
	うち一般財源			4,388		4,507	5,175	
人件費 (千円) B				924		3,762	2,640	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.14	924	0.57	3762	0.4	2640
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	環境基準値を超える原因に対し指導できる場合は、三重県と共に指導を行う。自然由来のものは経過観察とする。	③取組の課題	各種環境測定において、基準値を超過した場合、原因特定が必要である。
②R3年度に実施した取り組み	町内での大気・水質等環境保全に係る監視箇所を設定し、環境騒音測定、公害水質検査を行い住民が生活を快適に過ごせるよう努めた。また、測定結果で基準値超過したものについては、再調査を行うなど原因究明を図った。	④今後の改善計画	環境基準値を超えた原因に対し、指導できる場合は三重県と共に指導を行う。自然由来のものについては経過観察をする。